

## 第6章 大学院への入学について

### (1) 本学大学院博士前期課程への入学について

工学部を正規（4年）又は早期（3年）卒業後、さらに本学での勉学を希望する者は、大学院工学研究科博士前期課程（2年課程）に入学する道が開かれています。講義・演習及び実験もありますが、学部と違い、活動の主体は研究です。この課程を修了すると「修士の学位」が授与されます。

選抜方法等の詳細については、各年度に発表される学生募集要項及びホームページ等で確認してください。

### (2) 大学院博士前期課程飛び級入学に関する出願資格及び入学資格について

この制度は、研究者として優れた資質を有する者に早期から大学院教育を提供する趣旨で設けられています。

なお、この飛び級で大学院博士前期課程に入学した者には本学から卒業資格は与えられません。しかし、博士前期課程在学中に不足単位を取得したうえで「大学評価・学位授与機構」へ単位の修得状況を証明する書類を提出し、資格審査を経て、「学士の学位」を上記の機構から取得できます。

また、この機構が授与する「学士の学位」は、大学の卒業者に授与される学士の学位と同等です。ただし、各種の資格試験や入社試験の中には、その受験資格を、「学士の学位」ではなく、「大学卒業」としている場合があるので注意してください。

1. 次に掲げる要件全てに該当する場合には、本学部に3年次以上在学した者に大学院博士前期課程の出願資格（飛び級）（国際水環境工学コースを除く）を与えます。

①教養教育科目については、2年次末までに、別表第1に定める最低修得単位数を修得していること。ただし、構造工学コース、社会環境デザイン工学コース及び化学・物質工学コースにおいては、学部モジュール科目の10単位全てが評語A以上であること。

②2年次末までに開講された専門教育科目（自由科目、上位学年の履修が認められた科目及び電気電子工学コースと構造工学コースの「創成プロジェクト」を除く。）のうち、次の要件を満たしていること。

コース名	最低修得単位数			
	必修科目	選択科目	必修科目のうち	選択科目のうち
			評語A以上	評語A以上
機械工学	39	9	39	9
電気電子工学	43.5	4	39	4
情報工学	36	9	34	7
構造工学	29	32	29	32
社会環境デザイン工学	36	12	34	10
化学・物質工学	40	7.5	40	7.5

2. 大学院博士前期課程の出願資格（飛び級）（国際水環境工学コースのみ）  
について

2年次末までに、以下の①又は②の要件を満たしていること。

- ① 教養教育科目及び専門教育科目の卒業要件合計単位数の60%以上の単位を修得し、そのうち、専門教育科目の95%以上の単位数が上位の評語\*であること。
- ② カリキュラム上、履修上限単位数に制限があり、①の要件を満たせない場合は、教養教育科目及び専門教育科目の履修上限合計単位数の95%以上の単位を修得し、そのうち、専門教育科目の95%以上の単位数が上位の評語\*であること。

3. 本学工学部学生に対する博士前期課程の入学資格（飛び級）（国際水環境工学コースを除く）は、3年次末までに開講された専門教育科目（自由科目、上位学年の履修が認められた科目及び電気電子工学コースと構造工学コースの「創成プロジェクト」を除く。）のうち、次の要件を満たすものとします。

コース名	最低修得単位数			
	必修科目	選択科目	必修科目のうち	選択科目のうち
			評語A以上	評語A以上
機械工学	5 5	2 2	5 5	2 2
電気電子工学	5 9	1 9	5 3	1 7
情報工学	5 0	2 8	4 6	2 4
構造工学	4 4	3 4	4 4	3 4
社会環境デザイン工学	4 5	5 4	4 1	5 2
化学・物質工学	4 8	3 6	4 8	3 6

4. 大学院博士前期課程の入学資格（飛び級）（国際水環境工学コースのみ）  
について

3年次末までに、卒業要件単位数から4年次対象の必修科目の単位数を差し引いた単位数を修得し、そのうち、専門教育科目の95%以上の単位数が上位の評語\*であること。